



尼崎と作家たち 第49回

山崎 正和 (やまざき・まさかず)

劇作家

1934(昭和9)年京都市生まれ。5歳から14歳までを戦時中の旧満州(現中国東北部)で過ごした。京都大学文学部に入学し美学美術史を専攻、同大学院在学中から戯曲を発表した。

『オイディプス昇天』など歴史を大きな視野からとらえた劇作で知られ、1963年『世阿弥』で岸田戯曲賞を受賞。関西大学や大阪大学の教授、東亜大学の学長などを歴任。県立ピッコロ演劇学校創設時の顧問を務め、兵庫現代芸術劇場芸術監督として兵庫県の文化芸術の普及に大きく貢献した。2018年に文化勲章を受章。2020年悪性中皮腫のため逝去。



作品紹介

「大停滞の時代を超えて」(中公叢書)

山崎 正和/著 中央公論新社 2013年発行

革命と戦争の時代は過ぎ去り、人びとは政治的にも社会的にも手詰まり感を覚え、自分の立ち位置を決めにくくなっていた。閉塞感に覆われた大停滞の時代をうまく生き延びるために、我々は何をなすべきか。人類の文明史を一貫の流れとして捉え、目の前に起こりつつある事象の本質を解き明かして次代への指針を示した評論集。



常設三二展示

武井武雄 生誕 130 年記念

『こけし図譜』と郷土玩具の世界



武井武雄は大正時代に児童雑誌「コドモノクニ」創刊に携わり、昭和時代にかけて多くの児童書の挿絵・装丁・物語を産みだし、日本の児童文学に偉大な足跡を残した童画家です。各地の伝統こけしや郷土玩具に魅了され、それらをモチーフとした、たくさんの愛らしい作品を作りだしました。今年生誕130年を迎える武井武雄の作品世界とともに、尼崎・兵庫県の郷土玩具についても紹介します。こけしや郷土玩具についてのガイドブックやエッセイ・物語・武井武雄の絵本・関連書など、貸出できる本も集めました。

期間：3月1日(金)～4月24日(水) 場所：2階 エントランス



ビブリオバトル尼崎 春の陣



【日 時】3月30日(土) 11:00～12:00

【場 所】尼崎城址公園 芝生広場

(雨天・強風時は中央図書館内)

【テーマ】はばたく

発表希望者は電話または直接、中央図書館まで。
先着5人程度。(TEL:06-6481-5244)
観覧は申し込み不要です。お気軽にどうぞ!



ビブリオバトルとは「知的書評合戦」のこと。5分間で本の紹介をしあう、コミュニケーションゲームです。尼崎城を臨みながら開催するビブリオバトルにより「城主」の座を競います!

中央図書館100周年記念事業

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。

みんなのおすすめ本 教珠つなぎ

第41回

ますやま みのる
増山 実さん (作家)

『或る「小倉日記」伝 傑作短編集 [一]』

松本 清張/著 (新潮社 1965年刊)

※書影は2004年刊64刷改版のもの



旅先ではその町の小さな本屋に入ります。そしてこの文庫本を見つけると、つい買ってしまいます。それぐらい好きな作品です。繰り返し繰り返し読んで、いつも泣いてしまうのです。松本清張はこの作品で「芥川賞」を受賞しています。「直木賞」ではなく「芥川賞」です。時折ハッとするような詩情あふれる美しい文章も魅力のひとつです。主人公は実在の人物です。何より、時代に埋もれてしまった人物の「声」に松本清張が耳を傾けて紡いだ物語であることが、私の胸を打つのです。

次回は、関西大学社会安全学部准教授の菅 磨志保さんです。お楽しみに!

レファレンス室

から

～新刊紹介～

『予言獣大図鑑』(文学通信)

2023年12月発行

「予言獣」とは、人々の前に現れ豊作や疫病の流行などについて予言するという想像上の獣。コロナ禍で広く知られることになった“アマビエ”に代表される予言獣は、江戸時代の庶民のメディア「かわら版」で広まりました。それらの名称や図版、詳しい解説の現代語訳など、少しユルくてどこか愛らしい、謎な予言獣の魅力が詰まった図鑑です。

この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな本 入りました

『僕の仕事は、世界を平和にすること。』

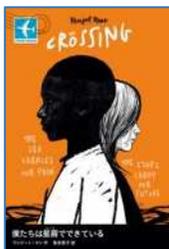
川崎 哲/著 (旬報社)



ノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) の中心メンバーから若い世代へのメッセージ。いろいろ失敗をする「ごくふつうの人間」の僕でも世界を変えられた。外交官じゃなくても、国連職員じゃなくても、世界を平和にすることはできる！

『僕たちは星屑でできている』

マンジート・マン/著 長友 恵子/訳 (岩波書店)



高校生のナタリーは難民支援の募金活動のためにドーバー海峡横断泳へのチャレンジを決心する。そしてサミーは、アフリカの独裁国家エリトリアから逃れ、はるか遠くのイギリスを命がけでめざしていた。運命のいたずらがふたりを結びつける。力強い詩の物語。

こんな質問がありました！

“フクロムササビ”の
写真や解説が見たい。



キーワード「ムササビ」で検索、ヒットした所蔵資料を見ても「フクロムササビ」についての記述が見当たりません。『動物レファレンス事典』(日外アソシエーツ)を引くと「フクロムササビ」項が掲載されている図鑑や事典がわかります。それぞれについて所蔵検索をおこなうと、『地球生物学大図鑑』(東京書籍)、『世界哺乳類図鑑』(新樹社)、『世界大百科事典 第24巻』(平凡社)などに、フクロムササビについての解説・写真が収録されていました。

～ 一般室(YA コーナー)の本棚から ～

『アメリカの子どもが読んでいるお金のしくみ』

ウォルター・アンダル/著 木村 満子/訳

(ダイヤモンド社)



親子でお金のしくみを理解すれば、お金を使い、貯金し、そして投資するとき、もっとかしい判断ができる。

金利、インフレ、ローン、株、為替など、将来お金で困らないために知っておきたい金融と経済の入門書。

『彼女たちのバックヤード』

森埜 こみち/作 (講談社)



中学3年でクラスメイトになった詩織と千秋、璃子。ある日、詩織と千秋が璃子の家に遊びに行くことに。そこで、璃子の弟が千秋の頬にかみつく事件が起こる。そこから、仲良しだったはずの3人の関係がぎくしゃくし始め、それぞれが抱える事情が明らかになる。

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館時間 **9:00~20:00**

※ 印は休館日です。

※ 囲み(日・祝)の開館時間は**17:15**まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

日時 3月12日(火) 午後2時~3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 『ひろったらっば』新美 南吉/作
『ふくびき』くすのき しげのり/作
ほか

※次回は4月9日(火)です。

◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください



午後の映画会

3月22日(金)14時~ (13時30分開場)

「モリのいる場所」(2018年 99分)

監督:沖田 修一 出演:山崎 努、樹木 希林 ほか

【場所】中央図書館 1階 セミナー室

【対象】尼崎市立図書館の貸出券を持っている方

当日先着 60名(貸出券をご持参ください)



担当者のつぶやき

春眠暁を覚えず。暖かくなり、ますます眠たい季節になってきました。私は毎晩、気絶するように眠ってしまうのですが、家族は時々寝つきが悪くなってしまう。そのようなお悩みをお持ちの方も多いのでは…。図書館には“快眠”に関する本もあります。参考に見てみてください。(M.Y)



4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				